

2024年(令和6年)3月26日(火曜日)

能登半島地震の被災者に富士山麓の自然と触れ合つてもううツアーガ、23日から2泊3日の日程で三島市などであった。能登の親子ら43人が、源兵衛川(同市)で水遊びをするなどして疲れを癒やした。

## 能登半島地震

### 三島のNPO 被災親子ら43人招く

ツアーアーを企画したのは、自然環境の改善に取り組むNPO法人「グラウンドワーク三島」。同法人の渡辺豊博専務理事(73)が現在の石川県能登町で小学3~6年を過ごした経験があり、地震の被害が大きかった同町と、隣接する石川県珠洲市の小中学校に声をかけ参加者を無料で招待した。

日本大震災後にも被災地の子

アーチが、23日から2泊3日の日程で三島市などであった。能登の親子ら43人が、源兵衛川(同市)で水遊びをするなどして疲れを癒やした。

(今坂直暉)

どもたちを三島などに無料招待したことがある。

23日は柿田川湧水群(清水町)を見学し、伊豆の国市内の温泉宿で参加者同士が交流。24日は山梨県側で富士山麓を散策した後、富士山のわき水が流れ込む源兵衛川に足を入れて水遊びをした。川に入った子どもたちは「冷たい」とはしゃぎながら、水をかけ合つたりした。

川遊びの前には源兵衛川の歴史も伝え、一時は生活排水などで汚れた源兵衛川が市民の活動で多くの貴重な植物や昆虫が生息するきれいな川に戻った経緯を紹介した。

珠洲市の瓶子明人さん(41)

# 富士山麓で疲れ癒やして

識して街を再生していくほしい」と願つた。  
ツアーアーは4月と7月にも計画されている。

### 再生した源兵衛川で水遊び



源兵衛川に入り、水をかけて遊ぶ能登の子どもたち=三島市で